取後通牒を叩

七分三分の割合

こ その歌言えい

に解がなめたやうに

就擴みにしてゐるの

朝鮮機管所では従来

頼みてえことがある

って、太徳を一反買っていたれた。日本権の裁後のやねえ。日本権の裁後の一―なに、大して面の一人を持つがある。 たるくなつちまつて行けがあるんだが、すつかり

4に否いてある。な、知るいっに孤まれたのよ。続しの思い くんな。こゝは他ら

揃えにやらて 間はする――それ、 語も飲めれえでゐる



ふんだ。単の寒吉兄いことよ。離が代りにる そ言ってね。心ら

でいた。一年らさがしてゐたかと んだ。そして、そのま て行くと似古はまた邸とを言ふない。 いのでね』 ったが、 急に押入る によろめきながら変

員を増員

のが多いのに鑑み、右地方において陸地様に

湖五郎作 **隷太郎**籍

中局の秘密 月號 ป

突きまくり斬りまくり

風を捲く高田韋駄天部隊

安心して食べて下さ

蔬菜の道内自給

「原廣准尉の最欠消太郎氏は忠武な一子が三人。何つてゐますから御奉

池田社長と二重役



⑤明視ランプが 二重コイルの

なかつた時代に於ける カーボン電球しか

驚異的な事實です

シラウト

元町不動尊

齒

ソランプ歯別子

6のトウランブ題前店にて

一個 三十五銭均一

中夏取停宣齊一口亞

タングステン電球の

出現のやうに

萬の信徒相擁し 皇國運動へ再出發

**学ることに決定。目下準備を**進

**倉場 六階ギヤラリー** 

の名で九日利川郡守へ中田

お役に立てるのが

まだ二人もゐます

天晴戦死の杉原准尉殿父の談

躍する。京城空港

津航路を皮切りに新線續々登場

次は上海です。などい

人の研究作品競変 新さに駆動する服飾

お待ち申し上げます

品废出

結局自殺と決る 水落靑年の死因落着

元町の哀話

同じワットで

そのんだ頭の軽い朝の

しき御婚禮衣裳の大陳列展觀; 二階

鮎澤専務は留置 幹部陣全滅の形

召喚さる

御婚禮關度品際列會 五階

二割も明るい

プシラウ

出來たことは

NA 社會式錄珠電西京 8 8 ラット・

磨歯

郷土の名譽双肩に奮戦力闘

工厂。 (作用) 社原油 种常來幹項首大 社區的發揮合社、各種目心面 一个、十二〇十

内方主要町一八孫斗舞(る)と李己

總台では握り潰し

蛤や蟹の密行商

平壤署で斷乎處分

「主席では、日本の一部教」(全国)時、と主張の大人のでは、一大学を担いるを担いた。「一大学を担いるを、日本の一大学を担いると、「一大学を担いるを、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を担いると、「一大学を表して、「一大学を表して、「一大学を担いると、「一大学を担いる」「一大学を担いると、「一大学を担いる」「一大学を担いると、「一大学を担いる」「一大学を担いると、「一大学を担いる」「一大学を担いる」「一大学を担いると、「一大学を担いる」「一大学を担いる」「一大学を担いる」「一大学を担いると、「一大学を担いる」「一大学を用いる」「一大

行つたところ価値連府三和町八九字殿僧(\*o)は圏閣役職登以下でき) が海州署員が停船を命じ船員の可物物物企 一類明したので、治州署では底に東江面の根病舎に李外

歌では直に東江面の現場をに挙外。("七)が保閣者と毎明(た 日が停輸を食じ朝具の可報物報) 一次で職工に行名に対した消費を行ったが、この外で、日に関係に入った同職人(で前案科は、一社等を保工に名、人実七名を現場で職職し更に介配の計算を、一条利益と職職する・共に同報と取り開発のあるモメント分割のは、大き、日報市部公司制造・七年の計算を、

黄海道内に保菌者二名出現

も多の訪れ

一寸も雪が積る

▼適切な療法が發見され

ました

とうミンBの給源 気中海の最も大きい療味たる 気中海の最も大きい療味たるの悪の基礎である候構のへー の悪の基礎である候構のへー

関南)色内中天棚里金上号で、上町神田豊西に五十両で入費して行。本のマシン機を終って「市の研念」(『近遠野して高内県が中方球域の関方)と見はマシン機を終って「市の研念」(『近遠野して高内県公司と共戦議者

月賦ミシン泣く

疫赤 痴痴

大阪·天湖湖北的 京京·芝公园大門 京京·芝公园大門

■○武田發賣品



製品はプリート 一人分三十段 一人分三十段

で確實されてあます。
「健精力かもと」は東京
「健精力かもと」は東京
「世界では、八十五日分「関六十投」(十十五日分「関六十投」(十十五日分「関六十投」(十十五日分「関六十投」(十十五日分「関大中では、八十五日分」といる。 

翻乘代理店 1 齊元 元川町 大阪市京昌遊歩町 大阪市京昌遊歩町店 雖 帝國社縣卷類研究所 諡 小 西 新 吳 魯 南 店

(ンモルホ胞卵) ン モルホ性女

が あります。 強つてこの 担望に象防 あります。 強つてこの 担望になってので

は、ピタミンBの解給と

マンガットでは、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ でもには ・ でもには ・ でもには ・ でもにする。 ・ でもにする。

を保護増進せしむ

色を佳良にし老衰新陳代謝を亢め血 し以て女性の健康現象を豫防・恢復 ン製劑にして、卵結晶性卵胞ホルモ 巣機能を関整して

関際標準品に全く 致せる權威ある

オペホルモンは、

٦

合理的に治療し得

その原因も降かれてく

されてゐまでから、老 し、肉體前方を昂める せる解言で、整体の機 歌も夢んできまっか、

給する時は極めてオパポルモン軽縮 ものなるを以て、

コールによる中心現象 復し、消化吸収が時候

機士飲酒からくる胃脳症状でこの類を服用してあます

る既であります。

N戦合體が最も豊富に

-----の後前歳十五 ●四-----

促進し、活金の割を除く 質賦活作用と、部裔の総

この物館とする趣は、四いふ顔生物を主成とした

とは絶り異にし、ヘー

ありふれた問題機、

の不足に起因するよる卵胞ホルモンよる卵胞ホルモンは外異機能不全に

短命の三大原因について、アメリ

月經過多並爲經不順、月經不順、月 女子神經衰弱

したいのは『頸豚わかもありさすが、この心験が

Pate Hatte Hatte 常用をお薦めし 持さして傾便が

順

でありますの

棚おかもと」は青肚年期には、地質へーフエ繊維「疑問のものを見ご代用する機に心型

の祭覧表、ホル

幸養自教も、出来るだけ値符件を登録する格内はを練展し帰じ

師給する必要があります。

催って肉韭大いに特別で

な新殿代謝に具へ

や肥勝を多く収

反之罪を取ると心臓等の器管

症に痛経

派、强く結ばれた。 常声虚子の脚

間壁の 強な特に 茶 を就

一茶県の一茶つとむる役者のた

太夫と御護根三瓦匠の谷根が交き

京都清水寺二句彼は京都が郷に好えらしい。

一書有衛門・・・・私は比の諸照を つた三式ぶのである。 あでた女

すれもが主連番船や型O月 箱 根

た何だけに、却つて吉五節門の大

身遷に黄棺芝しく、観然三拾つ

立秋や症根で達ひし土佐太夫

で、だ相すまねこと、今更ら御駒しい。 だ相すまねこと、今更ら御駒しい。 さを汚しはしなかつたかとおそれ

をする第五郎の船を見て馬頭海峡にて東京より九州入り

門前の古き旅港や竹の秋

本との第四節日東夏や東山

結ぶ一茶をも青石衛門氏以下の整一月東京開場に上職されたを鑑を

旬日に迫る

けふから前賣を開始

1)動風の一滴砂碗を用ださうとす 力は大額であって、 之によって氏 (思ひます、株に青石住門氏の象 一帯の一篇並に消光の家定権書、権 吉右衛門の來演

御来一茶三百石衛門とは我の郎 茶品の卸食すませて機能人 に於ては既すべからざるものと

昨年の「髪を精ふ一茶」を回顧 茶肴の湿跡をたづれて

おれてふない。 「旅」脈が」そ 小林とい、家多しそばの花 任色五以来つきものである。 彼 G酸惰良心をほのめかしてふる

日盛りを少し過ぎた心戸様かた 九州巡案中

カスに

により行みどうで登してある。 に、それぞれの仕事に忙しいので、学に遊びないもんなあ」 にも名の記事さる。 ところらやない、戦争も戦争大戦

社権職へ 武道長久の新願の 日巻 「むしも、さら思ふ。もら、承題村からの出郷兵の名に附近の神」は戦争に張ひありませんよ。

では、いか、ほんと5 No 話は一韓して朝鮮へ飛ぶる 暑 「わしの皇子もな、蝦夷迎といんのらうと質質……いや、ほんと5 No 話は一韓して朝鮮へ飛ぶる 暑 「わしの皇子もな、蝦夷迎といん

所へ行ってたが、二年前に数をこ

強さんは後々として語るのであ

支那事題は事題といふが、ほんと 死のときは死ぬるけれと、無駄死

いせのやらになあ.....

ん。朝鮮生れも同じことできあり

「競争なんちゃろが・・・ えれずさらですさ。 名前はどら

が、あんたけどう思ふ……今度の | うた気もしますがな。日念しても | 『生むは内地でも、京城に行つて

「「食者に見いう」。 「たまで、これが続行つて、正敵順折八」 るっち 一人の終さんの疑が負傷したこの方言ともつかず、からい 「ださうた。この人達も、こゝから」合したと見込んでか盛に語し続け

この日常は老人達か交替でやるの

この議論好きな爺さん、意気投一ちやもんなあ……」

やつてるそうなが……同じ日本人

「ホウ、先生おやね。朝鮮は欧日

『朝蝉の人も今度ほだいぶ一緒に』たは京建で何してなさる』

**採して、協念この楽潔寺へお贈り | も謎ぞれは関を切覧して氣の滅な百の石板を登つて会比解牌配に登 | 在〇〇病院に居ること、それより** 

「京城ですよ」

要問になって来たわい)

百五頭(イツビャクといふ)になっこの村の技長さんは、この春日

Tあんたは、朝鮮の何處かわり と語りかけて、

見え、それに京従金から流れて「しく間にしている経験大サーカス」あんだ、どこからお話りかない。長に及び、トタンに楽顔やステナーカスは文字道り吹ふ路で汗を挟きかったがら後つで行う後といる数下りの扱いといる数により、といる数ですのが、また。このでは、といる数ですのが、また。このでは、というな話しかない。 これもこれも表明らしく対策に一分で入の時代では、五十線)新々とれもこれも表明らしく対策に一分で入の時代で決、五十線)新々 大学品類科院女技式で配では来る た。より向くと、七丁ドもならう つわしらせこのか味はれるかの一大手間間だが恭 から、ひとい訛りで話しかけられ つくりと至る。 森永が大招待 程型って、金刀比縦官の壁の院と 落を右に折れて徒歩一杆、更に前一上 い際に降りて、職前の寂びれた村」「わしかね、わしは朝鮮からです」 小装蔵寺に向ふる

いちゃの』

並ひついた二人と群を並べて殺

新川に沿ふて坂を登り、 橋を茂 | 競争の話である。

りのことなど、先つ何をおいても

ってみたさるのちゃね。さうちゃ、なりなさるか……この話では一つてみたさるのちゃね。さうちゃ、なりたさるか……この話では一

子ると、やつばりこちらから行 「京城へ行ってるなさるのかね」

「ボウ、だいな遠方からのお語り ふ人盛に親しめるやう<br />
な言葉を<br />
沿 つて来たら非常に発はれた。と 数据から衰められたので受しま た支那服養がよく似合かと尾高

上回、一等哪金四四五十錢、二等

銃後の四國を歩く

[京禁胃文章安全 | 大郎

と茂つた山路にかかるとやがて讃 

定席で外に大衆席金一周五十銭と

縦を越へて縦なく楽艇といふ小さ 飲から師波への関係である。分水

長の鈴木町雄数後、張家日で帝一賢をすることとなつた、尚郷関邦

原電深製造資助所を三越(電話2)塗みだけあってその収入ら莫大、 劉給一室や財劇家の便宜を贈り十四日から スターの中から抜雑光売の常座に 11、タラーやすりを

かさ 出し杓は野様の卵・第一 富正 人気スターの懸けには可衷の映画 深夢を秘えたものな、出し木)に 日曜 (東京 ) と (東京 ) で (東京 ) と (東京 ) と

軍当時盟後成の下に毎日午後三時

一蔵、田之明、又五郎等東京著手礼 することになった。この内には耳、東の筆食中に青五角門は底織、九一クを標準した人たら、黒柄で揺(宗)、東の筆食中に青五角門は底織、九一クを標準した人たら、黒柄で揺(宗) 弗箱スターの 

人はスターの獲得には何奥の映画「姿勢を極めたものだ、併し本当の その收入を御覧下さい

烈給一萬卯)一九三四、六、七年一邦諸宗近来稀に見る魏衛的僧館は一、クラーク・ゲーブル(骨太成) 『出情の 不』の、写

社長賞田坂監督に 『路傍の石』の功

ベスト・テ

出演料冊七萬二百十四沸) 一九代、ゲーリー・クーバー(卅七歳 石年映場入りして怨ら第八位を

は第十位 年には十位以下で一九三七年に 三千五百郎)一九三五及び三六

すつかり感躍して全来愛夫 クラブにシリーのことを申

てるるのを素早く見つけたラノ人症が跳び寄らうとし 思してふくとうしろからガ シリーが飛びついてそのガ ラーへ蛇を取り押へて噛み ▲日帝京都作品、尾上帯太郎、原 特品、ゲスタフ・フレーリツヒ主 がスタフ・フレーリツヒ主

ウント作品ジャツク・ペニュ、アウント作品ジャツク・ペニュ、アマ部省、日将多略加美国企業、小なの者」 4ペラマの者、4ペラマの者、4ペラマの者、10米の第一名、10米的第一名、10米的第一名、10米的第一名、10米的第一名、10米的的第一名、10米的的第一名、10米的的语言。

ション「グランド・ショウ」
▲丸山和歌子と川崎豊のアトラク 天一映画社第一回作品金信載、若草劇場(二十日から)

数十種の動物を創食し、さなが また來る梅野井

て注目されてある。関心をもつせしめる方法は殆んど最初の試

小津監督と

南京で握手

の職封に散った南地少佐の牛生は

石衞門の俳句

**虚子に結ばれた一茶への思慕** 

一鍵的制的会見を行つたが、その時 | 糞に出催した松骨大船の小津安二 那監督と佐野周二は南京で偶然が

の心境が大船軍軍本公食、関門婦 人會館の手紙によって送られた。

た猫々しい人氣を呼ぶだらう

給五千弗)一九三五年頃には第一院、源給二千弗・寰嶺の際は週 パ、ジエーン・ウイザース(十二 たが一九三七年には

| 館少佐」は開著一非接近する事と

七、フレッド・アステアとジンジー、楽品第六位を占む

七年は第七位に顧落 七年は第七位に顧落 一九三

演科廿一萬七百廿九弗)一九三、ソニア・ヘニ1(廿六歳、田

種の存式を拾む「シリーめたルイズ・レイナーに難

たが、ある自自宅の庭で体

とい命名して可愛がつてる

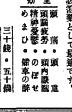
四郎、花柳小弟主演『泰雨郵便』

▲日清多願川作品、非染館 (十六日から二十

る仲秋の月! 頭痛や頭の疲勢が、 ーシンでスーツミ拭ひ

明快な頭腦! 共に明澄なること鏡 去られて、澄み切つた

させる獨特の築効を併せ持つてし、朦朧とした顧腦をハツキリ 同時に、頭の疲労を素早く恢復 河路・頭派を速かに解消すると 頭痛や頭派を達かに解消すると 而も常用すれば神経の荣養をよ



上つて、皎々こげえ渡夜の雨がサーツこ切れ

吸收されて、毛根に於る後毛別 を促進せしめ初期で頭を好刺せ はかめられた毛供からドン人はかめられた毛供からドン人の魅力を繁養者 場合には手根を失って居り、人の歌毛と述み若へかの らの故、強防も治験も可能です。 (定價)小瓶 茅工坊 大腹 茅工坊



(2018) 小田 ギ 1 101 | <根 ギ 2 10 個用 羊6.30 | 第二、デベート使あり

秋の叔け毛 の場合、正しら発毛料の郷間であると野に、お婆の鄙離と、毛椒への かせ 心化水、飛郷た紫に松郷によりか一番肝 際な御手大学です! 先で蘇へた独身の祭養を、横州高め お炭を防ぎ得る唯一の手段です。そは、「聡和斯」の些称に、政能と

₩

·库み:

母賣元●東京聖町(讀, 茶昌製築株式會社

九

動物団の窓あり、特に確公のオー

- バイ曲乗りは人氣を呼んでゐる

|脊作品「路筒の石」はシーズン形 き臭心作日活多摩川の田坂兵陸監

音術院の第

幽靈信家 もヒヤリとするやうになりました

がしまでして見せてなか(~の)であるだけに今回の表彰は悪いせ、ごうらいへば『読な気で、太母、「を用」であらして、もやんと門札は登2様・乗得者にはやさしい種」として賦測各地で引張り思の賊魔」心で御足いますと その歌さんが、その気の悪から質越四勝第一ホールにて得念の句。して居り、同龢は日下邦過代淡作「があつたといこことを関かされた」が、昨日行つて見ますと、複彩と越四勝第一ホールにて得念の句。して居り、同龢は日下邦過代淡作「があつたといこことを関かされた」が、昨日行つて見ますと、複彩と があつたといふことを関かされた。が、昨日行つて見ますと、複智さがあつたといふことを関かされた。が、昨日行つて見ますと、複智された。 四握手、三層、二層にお風呂までも「伽行馬」となつてゐるでは何 「何も御存じなくてお気の報に

登 都 庇 思

の開照作「五人の屋候兵」を獲装。私たちの家に、五六年前に人殺し同院督は本年度上半期において後。たが、いつり何かの話のついでに、

テッ作総信組置さめて歌けん

劇研座の公演
朝歌座で

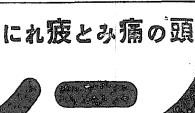
A気である。 かは三越を許ませた

「喧南郷」の撮影

Mariana Services

岩の名をあまれく様かせつ、南部 南の地一帯を張春せしめ、空の場 我が海の荒荒中の掲載として、 | 要染かつらににフアンの配役| ||一人船の小島南子(九酸)は

一人に方で、主張の蘇井貢に面掲し |新展児豆に依る臨井賞主蔵オー スター・キャスト『喧電郷少佐』 し父君南郷老将軍は大型な力艦の





爽かです。

ノーシンの優れた点は……

があり、又胃臓等にも安全無害くし心臓を異補する離れた効果 代人の必需薬として最適です。 ですから、日日の激務や勉強 経等で頭腦を過勞する取

烈性 益々非病勢を悪化させて了ひます。 を問はず共病的原因を制へ、痒味を ヨウモトニックは批糠疹、油性脂漏 此め頭皮頭襞を清潔にして過度の洗 は大抵過度の洗髪に陷入り、しい事脈で、辯くて耐らぬ方

気に陷るのを防ぎます。



混用規則改

除外地に中華民國も加

持合人 引返して

三十歳安となった
三十歳安となった

みが黒いマズイ八分稿の米を従して來ない以上獨り大阪人

當限落に - 総高

引売む

一回丁向新二七回丁海外 到丁日建化新二一四八 10一四五菱遮新一二九 標名の九四回丁 「一一八五菱遮新一二九

東氏の際に依ると所令を以つて 本の外ない▲大阪に於ける由来 の販り機構改革附近に付き前日 が上餐成に一大阪に於ける由来 が上餐成に一大阪に終ける由来

五七四丁太陽レーョン四大東那人機四七四丁昭

雙公1四十回新二1四

技と手駆く前場を終了した 内張れて連邦保守ひを検返し 内張れて連邦保守ひを検返し が多くアトは十一県から十段 のである。

たりする事は賈に賈豆道斷の行のいゝやらに八分搗きを申合せり又自分が自来を作るのに便利

ないます。 ないます。 のを納え明かになって見ると一般 + のを納え明かになってにも別な子を + かまが上り多かったいって見ると一般 + のを納え明かになっている。 されなじが日来のディーマに丁をく着行い はったいないほぼ日来のディーマンではでませる。 とれてはいるようなにも二百二十日の平何でもえがとれるこ百二十日の平何でもない。 では、おしまでは、おしまでは、対しまでは、 では、またいのようなには、自事の知でできない。 では、またいのようなには、自事の知でできない。 では、またいのようなには、自事の知でできない。 では、またいのようなには、自事の知でできない。 では、またいのようなには、自事の知では、またで禁は、 いても相場にはまる大したで禁は

目先横近ひ商歌であつた

殘米相場一巡

では何この姿の往来に乗移するかも 生成所は値り並み確単もなければ 生成所は値り並み確単もなければ 生成所は値り並み確単もなければ なくて大総五七年との三十二節一二十

合が出る。**阿散** 

本 に別っては 本 に別っては 本 に別っては 本 に別っては 本 に別っては では

1 | 7 8 91 

\$\$.40

にこの親切が能されらはは死物が大利へし、祖司に指示諸技に死死、人、祖司に指示諸技に死死をの職に死死の場所を表示。 たろ

(C-4)

田来てこなければ空が他に了る的姿が主でにないと訓示を田し物鏡が主でにないと訓示を田し物鏡が主でにないと訓示を田し 担要なしとは云へまい

十二条 相切のか 中級の環境主転音天災の有無にも 使るが全くは残家が資本を認過主 で非故し二来るか否を中党に取り で非故し二来るか否を中党に取り で非故し二来るか否を中党に取り では、2000年の百額がもつと 私と「来るまでは相場も大した観 化さぶな嫌か、つみかとう選来に 正辞以った立て、追職すれば事情の意味くなかれ首用也。他は推告となかれ首用也。他は推告を開発して知るべ、。中第三と云される人間の会形でこの近り、劉養化を開墾して石造でならる。自己の非常を大にすると直接字の機能もりたるかを記さって、近、100~1000年間、1000年間、 朝鮮弘力:2世名元統権化に乗出 すに決定した半島の登場が大々 に観策に課し出すことは確例だ 平撤別近の結婚があるの関策に 中等別及容里支工品間の傾して あやかりたいものだっ

製 海河湖

七六 年原七仙七六 年原七仙七六 現物七仙八八

日の良好も一巡相場に総込牌みと四銭高に密付き残存米の増加も秋。

京日卸賣物價

最後通牒を提出す

一切の交渉一時中止

緊急布告を發す

更に後方陣地攻撃

馬頭鎮に突入、敵を西南方に驅逐し午前十時三十分完全に之を占領、日章旗と軍艦旗を 陸戦隊土師部隊と協力し猛進を綴け十四日午前十時過ぎ相共に武穴對岸長江に臨む敵要の頭鎮十四日同盟1江南戦線赤湖畔より西進した永井部隊は九江西南某地點に上陸した海

頭高地に猛烈なる確実を浴せつ、 鼠標高地を載いてその電方の老虎 振黙太陽聲を磨り、他の鄙除は古

線は十四日回茶瓶に活気を見り

100十四日同盟特派員選】 存出

即沃西方中條山殿方面より行脈を 【OO中四日回盟J河城OO部除は

案件・由田、八郷、大島を監察は十四日朝来版定が築と降立。氏ご首番3とフ碇子1と居立し、長宮7月第十四日同盟] 西無城南方二百九十米高地を終取し続け城道をひた押しに西地中の津田、仮塚1月3年日 | 日

**隘口地帯は大激戦場** 

海の荒鷲活躍す

昨十三日近年就是限の

| 石室准十四日回盟| 山西青中部 波を完全に確保した。その間を順し、一方室に使材質性はである。 1 というちに柳林質性はになった。 1 というちに柳林質性はない。 1 というちに柳林質性はない。 1 というない 1

**濟州島の視察を終る** 

| り午後|| 時田餐途中健康な菜古場 | 卅に購拾|| 日間に真る行誓|| ついで稲田氏細葉の貝細工場に入 | 軽を突破して午後五蒜卅分類

| 所國三江省時原縣端近訪日尚工 | 永鎔城 (附長郡原南郡名总

究

版故 强送

~室戦

振替東京二八六〇一東京麴町區富士見町

宛显

正義による解決 ヒ總統の要望は

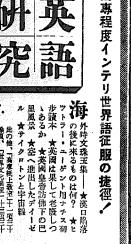
· 河相情報部長談話

154 外時文珠玉集 — ★淡口陷落 ・ 大変関 は果して老族しつ ・ 大変関生果して老族しつ ・ 本をへ進出したディーゼ ・ 本をへ進出したディーゼ ル ★サイクロトンと宇宙線

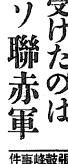
**芝思語 社究研 影響** 



(定價五十銭終1年) (定價五十銭終1年)、「世界文化展記」十三項三十 終頁、「世界文化展記」十三項三十 地の他、「萬孝紙上發室」十一項三十











題於題

府立高等原校教员 宦 間 西谷武次













ス黨チェッコに

第三線陣地崩潰に瀕ず

戦有利に展開

武穴鎭を呼脱

| 東中の朱正原は馬面領外線|| これを占領、全替兵は担子に関水」による後の大軍に対し攻撃を加へ 東中の朱正原は馬面領外線|| これを占領、全替兵は担子に関水」による戦の大軍に対し攻撃を加へ よつて必死の地域を減って統。を確認して「諸門対撃(20日)で云の

と、世界の思い、間のなり、一葉に確し、具在主要、作品はいい、と、世界、自然により、一般の原子部域の連続を有利に通り関い、というので、一葉に確し、其では、実行に対象を強くして、とこれ、たら可能像は十四日 原地を指揮機、総割門を吹き飛ば十四日同盟)十四日周盟(東地を突破、近に妻を発練を致行、を三唱した、たら可能像は十四日 原地を指揮機、総割門を吹き飛ばれている。

商城二里半に迫る

るれ篩法監保ら事

七高の傳統

高松高商一紫雪坊東京商大專門部與

合格の

郎

240042

**授授授授授**师授授師**授長** 

午前一時経想なら自兵戦を以て軍 | 佐一名、中時一名あり、自兵戦に | 三、

HELLS RESENT

特に陥り易き缺點

の群が弑草に敷れてあるのに一々

0

新滿獨貿易協定 きのふ正式調印終る 上げ、住宅籍の総和、保服領 委員會に一命館として之宅取 での れると ころによる

復違ふ**勿**れ

十四年から五ケ年計畫

野二年 『死

行 因

粷 統

第二 大阪省银行周福基 中国:10元十段 情 · 转面周明累 · 而主原五十种

支級取次販賣所 京城 官報 即刷扇刊行闢書鮮潮 蘇 三 省 堂 京 城 由 恶内则官派及内閣印 (統) 三 省 堂 京 城 由 恶内则官派及内閣印 (統) 三 省 堂 京城 由 恶

經三省堂京城田張所內

顺河

所

第十三 帝國議會議事速記錄 中國阿爾斯 医克尔克 **に関する法律及關係法規係・第一回 女 東 や 同 ボールトエ政権出入品等に関する諸時措置、加添録 ボーコ 女 東 や 同 ボールトエス** 

秋葉昇上等兵

本學各科中一科を選定し

校少年国の理論と訓練発験が大名道観光

三百百 年 九 一班

高學生

古

要

行發B曜水每

我が内閣の情報部での解析に指数ある。

で、100元では単位である。 世界の秋季面白く 東の低層内は早わかり

を 一様の色は向上を 一様型に一般を 小曜毎に一般を 小曜毎に一般を

起さん岱の使命なり、破府の政策又な関を、以府の政策又な関を

解局打開に致するため時局認識しつかりと

院まざる人はなかるらん でユースと智能の「週和」は 神々確々の便能も

:鉄J 國民待盟の澳口を中心とする

下部支那明細圖 陸軍省新岡班

閣情報

部編輯

定面 中華(前企) 四四八十四

具

状が一位の回胞が

五時間に避じ「漁稚」は野球を大つぎばや地質を鮮明に

「競別」の歌

|報日の姉妹誌! 見よ動き行く時局の姿を!

↑ 定價金三十銭 和業 米部は本同の位置、系統等

信

時

种 株 坊 局 稱 英 宗衛 三十五路

· 市 十 四 空間 三十五個

紀元二千六百年 是元二千六百年東現在銀行 Ø 本 義 文部省編纂

輸水

遊産

物

統の 法

债

規 大威省西战局极其 完作 十二四

計生

数様大阪入一三〇〇番

メ・シベリヤ・蒙古・東部が大綱師(佐藤弘岡)「大四町・十十四、近 支產等要 題 熱調 選擇金 線 海中域 完成 三二五

讚 三省堂大阪支店

今年の明治は最右翼

即月台のファーストース 観音を見たもの、報告では、ルーソものがあらう またら得な されてしまたは必定である、合籤はれるから早大も必須たり得な されてしまたは必定である、合籤の罪の研究が施されてゐると思 よは、一たまりしたく文概を開業

(日曜水)

ラ

ビーリ

グ

RI

17トに柳漆の中に對早大雪

まづ得動師のモーター

者の地位に立つとは考へられない かし昨年初めて打倒壁廊の衛順

の鉢倒を一層著化上馬環境師のの鉢倒を一層著化上馬環境開放。香管下の音組動開設、香管下の音組動開設、工芸性を再り渡の上環境特別並の鉄切りには大路を開発した。

部に依り持続相成だし 秋季ラグビー リーグ日程變更

舞南部代表十一月十三日午後二条國大會議選、京領市所の辟者

、樹型が遊去された(括弧内は **从是那時說照和十三年度秋** 秋季リー 一里第(四)世三日(会) 题信 一般证(用) 0 河道 = 4.九月 一种四(木) 题信 — 4.6 (基) 十六日(元) 题信 — 4.6 (基) 十六日(元) 恋课 — 4.6 (基) 十六日(五) 恋课 — 4.6 (基) 十八日(日) 亚颖 — 4.6 (基)

はない。 はなべてある、この中に只一 と昨年の関ガメムバーをその と昨年の関ガメムバーをその といった。 であるドドロルを見渡すと、遠

としてのスリルを感じたいのであい無氣味な思器の出現に、勝敗事 数の、何度かに移されてあるらしたからリーグの理解者としての立 な波瀾を呼び起丁かも知れない、

る、昨年度確全議取ったのも實にる、平均整理十八貫のFW、これ

た特別の経過に整み、今夏は「突進にものいじせて徳州へのドリれが一度開発を生じて敗れ去」著男所是様ぴの下い戦が、頼々の信めるでい弾であったとけに「2」ドロイビもで言している。『一

鹽原體育協會長から

各道體協へ意義の徹底を通牒

龍山ラグピー語 場、菱正新洋牌十一月二十三日

れが密義の能感を順し各計例認知 型 五十銭以上)の場合は明確の行ぶない。 一、鮮外展遊の場合、標字組動型 は含の承認を得て之を行ぶ は含の承認を得て之を行ぶ

日及名称、漢字人名、中期刊版書館の上部のとす

内は複り大の如く観覚された(指摘 秋地ラグピースケジュールは都合 京城實業庭球聯盟

明の共同段線を打破つて、一架勘であった、之が慶應の若さをいよの精頭を西本の手で押へてゐる早をいつの間にか會得してゐたもの **帰勿論選手**■ の量、質実

ずホイールして強パックスンをル 1ズの渦中に捲き込む老獪な機術

油斷のならぬ立教

> 棚に背反せず且続後の戦士として より優勝版並に優勝折の収回あり

Ŋ

一方を以て聞へ」との機関、延手 際政局計商銀版(施銀コ

地ところで加 今秋のドツ で の西学れは、海水、小百の宝宝 中京 ・小茶が用点され これに瀬寿に加って枝 足の無味を思させる、特に小林 足の無味を思させる、特に小林 と は は 中華 も既に知り 却で清智した まなべられて依然博士の場である。

種銀、東拓に勝つ 1日入場式]

> 舞戏歌三—四(金統 類共通的——二(除頭鈴 郷漁椰二―四(発味機

▲第三回頭

延專籠球雲辱

對普成專門

延票56 (3521 2025) 45岩岩

泉園区民館株は銀道の精神で、教育を高れてはあないがず、 げる事に重要な意味がある機 民は随る上成様であり、なら は實施以來なる程其の普及狀 2承知し居る、皇國臣民體操 しての意識もさる事作ら 乗り合せて居られた暇之内道生に對して、其の湿車に丁度 たのを思えて居る、之と同様。 担の限之内先生が竹刀は杖で で竹刀を杖づきにして居た部 笑ひ乍ら唱へること、同じっ とだ、古い歌像だが電車の中 は基國臣民の誓詞をニャー

盟

朝

軟 式

庭

球

る誇を史歴の古最

九月十六日まで、京城日報

し男子の方は招待券御持瘳の方に限る

**谷等その人材の豊富さは頼毎しい 焼して登用的在で、FF上田、長佐郷は大谷、堀川、中川、高橋を** 實力の飛躍は、まで肺が血事質と 趣館しても、荒武者明治が北島名 一所であり、

ートを一蹶中央に聡列県居遜様、年の優勝者様数チームを先頭にコ 一式庭球科学リーグ限入場式は十四 行参加七チーム六十餘名の選手昨日午後四時中から鮮銀コートで駅

商銀、專賣に敗る (耕灰配四——三(難蘇性 吳陽城二——四 (華孫嫡

大の右翼に座すべきものから知

(殖銀コート) 計一金百十五四心

累計 一金七萬九干百九 十六圓九十一錢也 累計一金四萬九千三百 十一圓二十七錢也

百人圓十八錢也 がいるのはい

金百四也 京城庁三坂派二五九金百四也 京城庁三坂派二五九

屋

發賣

神経癖にも大髪よ の築店でも近頃素精 い質れ行です

オキメの速いが節刳

國防獻金



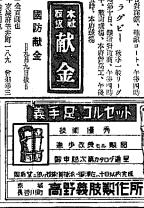


皇軍慰問金









融熱

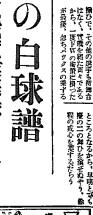
國防献金



五時、本府第5 平、前山採場、本府對高工 平、前山採場、本府對高工



医哈巴南古征含







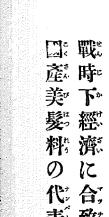
場日

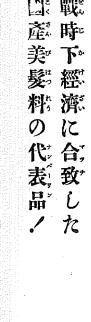
所。 京 城 運 動 塲 庭 球 塲時。 昭和十三年十月一日午前九時より

庭球場

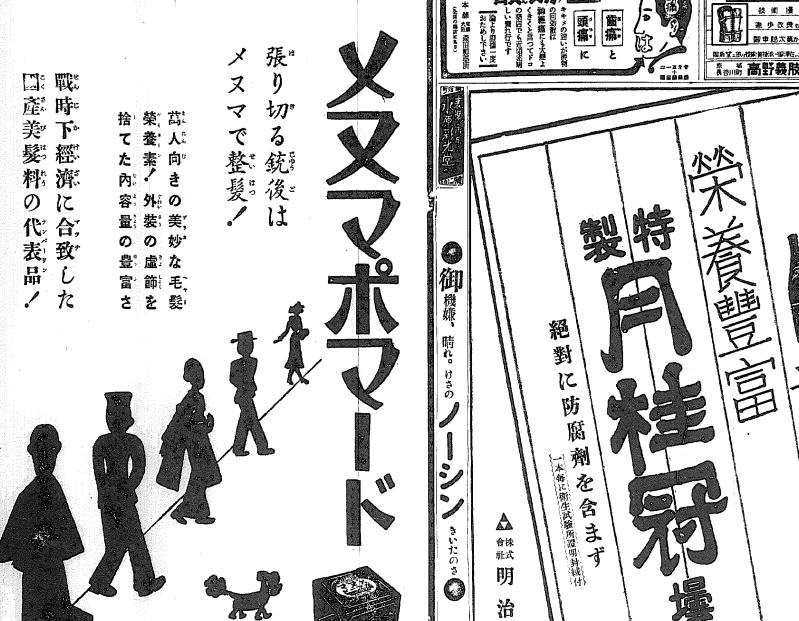
**薯 全鲜女子女學生** 







<sup>規度</sup> 井田 京 榮 堂



結局これを指導する態度が問題

高いものも勿治限りない

さらです、和服の部一族の何でせて三十四を出せば深華級が出来る

守後の 恩給金融

【第六局】

利用者は期限内に整理のこと

は ◆透滑と花葉順列寮田し(阿、五 は(十日から、11階) し(十日から、11階) は(十日から、11階) は(十日から、11階) は(十日から、11階) は(十日から、11階) は (十日から、11階) は (十日から、11階)

心得たいコンバクトお作法

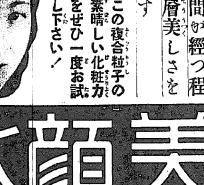
きるやらになるの











(1)

様な

或はたえず下痢便、しぶり腹、雷鳴などがつゞき健康便は一

今までと違ふ新治療法

(2) 近啊 的な明

(3) 時間が經つ程 層美しさを

をぜひ一度お試ったの複合粒子のこの複合粒子の

美しさに 朗

絽や銘仙も豊富に採入れた

胃腸自身が

美? も < 子 附。 て ズ <

白: 拔り 松:



お國言葉で話がはづんだ

松下夫妻の會見談

忠北有隣會各郡に支部設置

海女廿六名無事救助

製創明報 生先獎 存在 長院病原吉廓遊原吉京東前 ンキンオラブ

をあれ 三十成立の男子架川す。 建一大成立の男子架川す。 建一大成立の男子架川す。 建一大ないる。 は一大ないる。 は一ないる。 は一なな。 は一なな 

京城卸商組合の態度注目

忠北道民の赤誠

購入證や使用證明書を發行

公正な割當てを圖

候の變リ目、過飲過勞毎に再物特のででなくては全治は不知時のでがある。頑強な淋に獨特のでがある。頑強な淋

發慢性淋菌の頑强性

合印ナガシ

決解の題間病國亡

の精緻極まる新發明治淋法 慢性菌を一撃の下に慴伏さ

靴を

原都の淋漓により特性 性点の圧慢で、先れを を減しなければ、生中残ながます。手のの細い毛の性な 気があり、自管とえる光きさまりの細い毛の性な 気があり、自管とえる光きさまりの細い毛の性な 様に無数に定り刺ってとる。淋漓がたれ等の単位 様とするのに排放してよる。淋漓がたれ等の単位 様とするのに排放したけるのではない。 北底には無数の 場入するのは排放したけるので、一・砂止席に簡 が大するのは排放したけるので、一・砂止席に簡 が大するのは排放したけるので、一・砂止席に簡 でなくては金崎原生色したい。 自然や性とした事 でなくては金崎原生色したい。 自然や性とした事 でなくては金崎原生色したい。 自然や性とした事 でなくては金崎原生色とない。

處に成功・歡喜▼

電本5912

京具紫闪

+

は不完全

神總動員

不正商人取締 [1][1]

妏

痛の兩面治療の眞

殺菌法

をすべて、特性のには成成作用より有美女は新術園が作用ない。 特性のには成立をは、「特性のには成立の計画との関われたがら原来その目的は達せられて整備を表現るとながら原来その目的は達せられてきるのようながない。

鼠住期国帰住慢性期の恐作用の歪風

女店の単立の一大工版会工名称の一大工版会工名称の一大工版会工名称

2

特別案人

女事務員募集

御

( سر

地布てへ洗にず

れが落ち

ます

'nν

來て 浪 ۲ **、費を避** ひになつた物は気持よく 間 なれます。 とが全然あり 誠に P 洗つた後で腥臭を發す様 勞 力・ 合理的で けることが出 ませんからる洗 布 地 ₹. 等 0 3> ₹4

い形に 輕く振り洗ひ 强く揉み洗ひする必要が 物 細片 そして棒 した洗濯溶液が なつて居るのでムラの無 の全然ない純粋な石鹼 (鱗片狀) でとけやす 石鹼や するだけで綺麗 粉石鹼 樂に出 0

全る 形の ◎ミツワフレ 來 上は で Ø 違つた洗料です 粉 勿論、 p 栫 石 I 鹼とは 띪 ク 質も Id

十二價定



毛 織 洗 れさへあ 瀘 物 P

ば

店商屋見丸 ② 歐羅本田京東 鏑本



への最適劑として病者健者を問けず服用を慫慂の疲勞(夏まりの恢復)体力の充實(抵抗力强時節柄惡疫の流行に對しても酷暑時の全身諸組織

体力の充實 抵抗力强化ても酷暑時の全身諸組織

ンモルホトウア血造

店商吉友澤藤 社會式株 阿門公園鎮京 阿本國橋本日京東 町島道區東阪大 冊子「活動の源泉」無代進品

**冊子「安産讀本」 無代進呈** 

素質化する 大体肝臓中の貴意成分線プロタルビンと同一単成を有し新麻体質を吐露 ならしめ茶養を充賞し新麻代剤を旺盛 なり、大阪・10 大阪・10 榮養不良

れ諸般の治療豫防に重用せられ來つたのであつて 南るして現に二十餘年來全國帝大病院に常備せら を活潑ならしめ榮養を充實しエネルギーを補給し 強大なる造血作用・細胞賦活作用により新陳代謝 明 5 ブルトーゼは造血アウトホルモンの使命たる

適正なる國民的强壯劑として貢献して居ります

る國民体位の問題に對し

体位向上の秋!

長期非常体制下に最も憂慮さる

ブルトーゼこそは最も

SULENTONO 70S BIST

向 上に選進する

に死の赤色



公衆用ラヂオ 四百を農漁村に

蟹採りの歸途激浪に吞まる

| 行方不明十一名 |

◇申込==ハガキにて京日ア御買求め下さい)

◇爾賽==不要(但し切符【汽車賃往復三十二銭】は各自◇廳員==三百名限り

けふの天氣

70 级 療 法

東京神田花海町町町町中町町富

獎忠壇

美人女中と地主の次男坊

中央無盡の不正重役

北漢山を攻略

コレラの疑ひ

◇集合=東京城驛(元淸凉里驛)午前九時◇とき=九月十八日(第三日曜日)

凡ゆる企业の根幹となる計算は 絶對正確でなければなりません





タイガー計算器株式會社 京城出張所 (温鬱本質で) 恋話





協議春川支艦

ムズガユキ皮膚病 □ ★目下發賣中!! 和自然性地建筑的。 和自然性地建筑的。 中高差型。 企业企业。 家賃程度で我が住居の関金などの月歇塵類

## ブの石炭だけは豊富に頭 い思道の

工順では形類る一维誌は脚まれば脈貫・心臓な人不認いたかで人格の概、仕事 肥る!

慧の袋は雑誌

から隅まで一頁のムダなし女特價六十錢

のことのこと……近備文隆

德永小兒科

職級登記公告

調雜問語

京主語 日曜川本名・水・東部名・東京 里東 田 / 間 日野 | 1 世 東京 田 | 1 日曜 | 1 世 東京 田 | 1 世 東京

+

<sup>閩學博士</sup>德 永 西山門町4八裁判所東通)

電話(光)196日抽

清] 用是甲脂脂醇等 豐齡了月点與名 株式名義 告換停止公告

北鮮製紙化學工業經會社

京城市三大村縣島義雄 住电難。緩和

查調用信 所信果國帝 《伊克斯平本日子通平本》故 第二一三四本月前 義政田山 明改成

製島産 部旅区被資保久大 三町金貨業以 第四十二二(2)本電

裏間あんなに頑張っ 不卵より危し 白の心臓部を衝い 【禁無斷上演映鑑化】 瀬越 一加六・〇〇(度)ラチオ競換 の横川法語(1)藤〇一(廣)朝の作業 朝の部 第一放送 ○ 配八 ★ 木 大・三〇 ラチオ時大・〇〇 流話訓 の化粧「評辨」 お母さん 八・〇〇(宋)浪花節《天野 婦人の時間(後三時) 婦人の職業 將來 加古 白連絡を怠る 發明の苦心 松下卓朗 現れるも 丈夫か弱いか、ハツキ 膚の艶が 悪くなり、 くすると 身體に精根が張 試めせば直ぐ判る |愛用してゐると、血行| ことを忘れた丈夫な身||養眠北瀬の養命酒を | の、疲勢れるのと言ふ の工合が 迚もよくな 滑らかて、ピチピ ともなく水々 情の節がドコ Ø Ø Ø 體になると、愛飲され てゐる方々が多いから 薄謝を贈呈い 採用の句には 川柳をハガキ 養命酒の効能 ののほせにはすぐ

一、木油四瓜 一、木油四瓜 一、木油四瓜 一、大油田枫 整山 行(全行)目廿四平安十 11駐

劑壯强力體·力腦

「バチ」

雑血吸出に鐵フイチン 利血吸出に鐵フィチン 射約四。東京日本顧臨一小西新。島居、三共日末總代理店 發寶元 棒式食社 医田 美馬 街商店

表聞を防き病勢の通行を抑制す。 す、又結構患者の初期に異ふれば 恢復期・神身の 温 勢等に最も進 対策退・身健虚闘・虚勝尺直・病後 神経療弱・ヒステリー・館忘症・宿

和物登芽―生命―の力を生ずる重要成 植物登芽―生命―の力を生がとしまった。 
「現代的に治療し、頭腦を明快としまった。有機性燐化合物にして神経疾患の 
「現力を生産として神経疾患

星野り上部編學本日記台第工場化ルセーバ西語ルビ和三町瓜區東市股大は飲文

13... IO

日本乾電池標点會社會

九・四〇 (深)

下-00(天)

時は昭型、上海士二月二十

十六日(金)

揚子江上の血 正生 桃川燕井